

**楽しく人権を学ぼう
人権学習+α**

谷笑楽校で谷公民館が主催する「人権学習+α」が開催されました。

紙芝居作家のよしとさん(松江市)が、「人権」をテーマに紙芝居を披露。参加者は歌ったり、踊ったりしながら楽しく「人権」を学びました。人権学習後には飯南町社会福祉協議会との共催で、「盲導犬ふれあい教室」も開催。「目が見えないこと」などを学んだり、盲導犬に触れ合ったりしました。

会場には、人権がテーマの本の貸出や昔の遊び体験コーナーなどもあり、多くの参加者が楽しみました。



家族や友達と一緒に楽しく学ぶ時間になりました

**日本一を目指して
ウナギ釣り大会**

町内の有志で結成された「来島ダムを愛する会」が主催で「ウナギ釣り大会」が開催されました。

会場の来島ダムに集まった参加者は、昨年、日本最大級のニホンウナギを釣り上げた藤川佳成さん(野萱)の指導を受け、釣りを開始。開始して約2時間、20時を過ぎてから夜行性のウナギが活動し始め、多くの参加者がウナギを釣り上げました。

参加者からは「釣れないかと心配していましたが、釣り上げることができ、楽しむことができた」との声が聞かれました。



約80センチメートルと大きなサイズのウナギも釣れました



飯南神楽団の神楽の演出に子どもたちも興奮

**雨上がりの空のもと盛大に
第31回ポピー祭**

「第31回ポピー祭」が、東三瓶フラワーバレーイベント広場で開催されました。

メインステージでは、恒例となっている神楽公演のほか、キッズダンスや演歌歌謡が行われました。そのほか、地元出店者などの飲食店が並び、やまめのつかみ取りやモデル写真撮影会など、来場者が楽しめるブースが盛りだくさん。グリーンスローモビリティ乗車体験も初めて企画され、多くの子どもたちが乗車しました。

会場に訪れた5500人の来場者がそれぞれのスタイルで楽しみました。



地元の美味しい食事楽しみの一つ



イベント会場周辺に咲いた色鮮やかなポピー

**家庭でもできる手入れを学ぶ
刃物研ぎ講座**

交流センターとんぼらで、頓原公民館が主催する「サンドペーパーで刃物研ぎ講座」が開催されました。

この講座は、研石がなかったり、研石があっても研ぐことが難しかったりする刃物の手入れを、普段からできるようにすることが目的です。

当日は、10人を超える参加者が、それぞれ家庭で使っている包丁や鎌などを所持。頓原公民館の石川館長の指導のもと、耐水性のサンドペーパーを使った手入れの方法を学びました。



作業は集中して安全に気をつけながら

**お互いに協力して
外国人と地域住民が交流**

さつき会館やその周辺を会場に「飯南町内で働く外国人と地域住民の交流会」が開催されました。

このイベントは、飯南高3年生の3人が生命地域学の授業で企画し、志々公民館と共催。当日は町内の事業所で働く外国人8人と地域住民約20人が参加し、グラウンドゴルフやゲームで盛り上がった後、食事をとりながら交流を深めました。

企画した高校生は「今後も外国人の皆さんと交流できる機会を作り、外国人への理解を深めていきたい」と話していました。



グラウンドゴルフやゲームでは会場に笑い声が響いていました

**いっしょにやん人つなぎ基金
事業認定書贈呈式**

「いっしょにやん人つなぎ基金事業認定書贈呈式」が開催され、飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会の作野広和会長から2団体に認定書が贈呈されました。

今年度、贈呈を受けたのは、子ども自身が遊びの内容を自由に構築していく「あそび場「プレーパーク」」を運営する「飯南プレーパーク+α」、飯山街道の地域資源としての価値を啓発し、まちづくりに生かすことを目的に活動する「飯南町飯山街道を訪ねる会」。どちらの団体も、地域資源を活用した取組が評価されました。

この事業認定は、国道54号の沿線を盛り上げる活動を支援するために実施。今回の認定を含め、これまで18の団体が認定されています。

基金贈呈式に併せて、作野会長から「頓原維持安全協議会」に感謝状が贈呈されました。

同協議会は、国土交通省松江国道事務所が発注する、国道54号の工事を請負う施工業者で組織された団体。道の駅頓原のイルミネーションイベントややまなみ街道クラ임ライドへの協力など、地域の活性化に取り組まれています。



贈呈を受けた皆さん(前列)や関係者で記念撮影



頓原維持安全協議会の景山会長(写真左)に感謝状